

校長室から



令和6年(2024)年度を迎えて

【はじめに】

南アフリカ共和国ヨハネスブルグ日本人学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

私は、ヨハネスブルグ日本人学校長の渡島 郁弘(わたしま いくひろ)と申します。令和4年4月に東京都より着任し、令和6年度で3年目を迎えることとなります。

令和6年度は、4月11日に「着任式」「始業式」「入学式」を挙行し、1学期が始まりました。昨年度は、ウィズコロナと言われる段階となり、ほぼコロナ禍以前の全ての計画に基づく教育活動、学校行事、国際交流を実施することができました。今年度はさらに、昨年度の計画の反省を踏まえ、さらに一步進んだ教育活動を実践できるよう取り組んでまいります。

【学校の歴史及び環境と運営等】

本校は、今年で創立 58 年目を迎える歴史豊かな学校です。1973年に現在地のグリーンサイド地区に移り、1983年には、赤レンガのモダンな新校舎が完成し、現在に至ります。

校舎裏には全面芝生に覆われたグラウンドがあり、その他テニスコート、プール(気候的に11月から約4ヶ月間入れます)があります。2階建ての校舎は、校長室、職員室の他に、各学年に1つの教室、体育館、講堂(音楽室)、図書室、会議室、事務室、美術室(技術室)、家庭科室、書写室があります。別棟には理科室もあります。

校舎の前庭には木製のアスレチックがあり、休み時間になると子どもたちは元気よく遊んでいます。お弁当を持参し、天気の良い日には外に出て学年の隔てなく芝生の上でお弁当を食べています。これらの環境の中で、私たち教職員は、常に子どもたちの目線で考え、子どもたちに最大の愛情を注いでいます。

南アフリカでは、電力不足により、ロードシェディングと言われる計画停電が日常的に実施されています。昨年度の前半までは、ジェネレーター5台を稼働させ、教育活動に支障がないように対応してきました。7月末には、日本人会の皆様のご支援を受け、停電時もソーラーパネルによる蓄電ができるバッテリーやインバーター一式を設置しました。このことにより、停電の影響を全く受けずに、日々の授業ができる学習環境となっています。

このように、子どもたちは在外教育施設としては大変恵まれた施設環境の中、毎日楽しく安全に学校生活を送っています。

ヨハネスブルグ日本人学校は日本国文部科学省から認可を受けた在外教育施設であり、日本国内と同等の教育を行っている南アフリカ共和国では唯一の日本人学校です。

学校設立の目的は、ヨハネスブルグに在留する邦人子女のために、日本の小学校及び中学校と同等の内容の授業を行うことです。また、本校卒業生は日本の小・中学校卒業生と同資格を有します。

本校の設置者は、南ア日本人会です。従って、学校の校舎その他いろいろな施設は日本人会が所有し、学校運営委員会が、施設、会計、バス運行など様々な運営方法を決定及び執行しています。学校運営の財源は、授業料の他、日本人会、日本国政府、海外子女教育財団等からの補助によって賄われています。

【ヨハネスブルグと学校の位置】

南アフリカ共和国は、アフリカ大陸最南端にあり、「太陽の国」と言われます。約6万本と言われる世界最大の人工林の緑との見事なコントラストを描き出す青い空、そして、燦燦と輝く太陽にすがすがしい空気、また、農作物が豊富であり、肉類、野菜類、乳製品、果物類、特産品であるワインなど、品数・量共に充実しており、しかもとても新鮮なものが店頭に並んでいます。

ヨハネスブルグは「ジョバーク」とも呼ばれる街で、標高1750mの高地にあり、南アフリカ経済の中心都市です。

ヨハネスブルグ日本人学校は、エマレンシア地区と呼ばれる地域にあります。周囲は緑に囲まれ、静かな住宅地の一角にあり、エマレンシアダムやヨハネスブルグ植物園、動物園なども近く、学習環境に恵まれています。

【学校教育目標】

本校の学校教育目標は、以下の通りです。

「国際感覚を身に付け、確かな学力と人間性を備えた児童・生徒の育成」

- | | |
|-----------------------------|-------|
| (重点目標) ◎生涯学習の基礎としての自ら学ぶ力の育成 | かしこく |
| ◎国際社会に生きる日本人としての豊かな心の育成 | やさしく |
| ◎生涯を生き抜くたくましい心身の育成 | たくましく |

この目標を受けて、目指す児童・生徒像を「かしこく やさしく たくましく」とし、すなわち知育、徳育、体育の3つのバランスのとれた人格を育成し、海外での特性を生かし、国際性を身につけたグローバル社会に対応できる人材を育てる教育活動の充実と一層の推進を目指しています。

【学校の概要及び特色】

JSJスタッフは、日本国内から派遣された教員(8名)と英語の授業を行う現地採用教員(2名)、また事務兼通訳・用務関係の仕事を行う現地採用職員(6名)で日々の教育活動を行っています。

本校の特色として、ECクラス(英会話教室)を設け、小学1年生から全児童生徒を対象に週に4時間の英会話教育を行っています。小学校3年生以上では、クラスを習熟度別に分け、2人の南ア人 EC 講師から、実践的な英語力と広い視野をもつことの大切さを学んでいます。日々の教育活動の積み重ねを大切にしながら、国際感覚を身に付け、豊かな心と確かな学力、そしてたくましい心身の育成を目指して、全スタッフが一丸となって頑張っています。

特に、「確かな学力を育む」ために、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行います。児童・生徒に生きる力を育むために学校全体が、「学び合う集団」として、小学1年生から中学3年生までの児童・生徒、そして教職員が深い絆で結びつく学校を目指しています。

また、在外にある学校の利点を大いに生かし「国際人としての資質を育むこと」にも特に力を入れています。母語としての国語の習得はもちろん、英語によるコミュニケーション能力を高め、その力を活用し実際に現地校との交流や、ヨハネスブルグならではの自然や施設への校外学習の中で問題解決していく力を育てていきます。

【ご案内】

本校への入学・転入のご検討をしておられる保護者の皆様には、是非入学・転入されることを切に願っております。

また、実際に本校に足を運ばれ見学されたいご要望のある保護者の皆様は、メール等(teachera@jsj.org.za)で見学をご希望の日時等をご相談下さい。

ご来校の折には、ご説明およびご案内をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【最後に】

本校は、多くの皆様のご支援とご協力があり運営されてまいりました。運営母体である南ア日本人会、在南ア日本国大使館、学校運営委員会、そしてご家庭との連携を深め、新しい時代に即した日本人学校を目指して邁進していきます。

これからも、学校や学級の具体的な取組、学校での子どもたちの学習や生活の様子、様々な行事の取組などについて、学校だよりや学級通信、各種お知らせ等での情報提供に加え、ホームページを活用し、分かりやすい情報を発信し、親しみやすい学校となるよう努めてまいります。

皆様方のご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう、この場をお借りしまして、宜しく願いいたします。